

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ほっぷ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年1月29日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの利用者との関わりの時間を設ける (サービス提供時間を14～16時まで混合する)ことで、同じ活動や時間を通じ、社会性を育てていく。	児童発達支援と放課後等デイサービスの両利用者が関われるような活動を行っていく。 ・ごっこあそび ・リズム遊び ・サーキット遊びなど	年齢差があっても、楽しめる活動や、遊びを行っていく。
2	チャレンジし、失敗してもチャレンジした経験を自信に変えられるように関わりを持つこと。	苦手なことでもチャレンジしたくなるように声がけし、できたことよりも、できなかった時にしっかり褒め、チャレンジできたことを自信につなげられるような声がけを行っていく。	非認知能力を育めるような活動や、関わりをもっと増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者合同での活動や、研修を行うこと。	事業所を立ち上げたばかりで、年間のスケジュール把握ができていないことと、保護者との信頼関係を作りながらしていたところもあったため。	保護者同士、職員との関わりを持てるようなイベントや研修を計画していきたい。中には、利用していることを周囲に知られたくない保護者もいるので配慮しながら行えることを考えていきたい。
2	たくさんの特性に応じた支援の対応。	保育士以外の専門職員がいないため、支援の幅が限られてしまっている。	専門の分野の研修や、有資格者の助言を活かしていく。
3			